



薫風

銚子市立明神小学校学校便り
VOL.15 令和6年10月23日

令和6年度 学校教育目標 「心豊かに自律できる子どもの育成」
『楽しく、面白く、やってみたいをやってみよう!』

市内小中合同音楽会



10月18日(金)市体育館にて「銚子市小中合同音楽会」が行われました。本校からは、5・6年生の児童が参加してきました。5・6年生の子供たちは、7月から音楽の授業の中で、本格的に練習を積み重ね、当日は明神小のソウルソングである「交歓分宿の歌」と「空高く」という合唱曲を披露しました。体全体を使いながら自分の気持ちを表現している子、満面の笑顔で心を込めて歌っている子、大きな口を開いて一生懸命歌っている子、指揮者を真っ直ぐ見つめながら堂々と歌っている子、どの子供たちをみても、それぞれの想いが伝わってくる歌声で、とても感動しました。

を聞いて一生懸命歌っている子、指揮者を真っ直ぐ見つめながら堂々と歌っている子、どの子供たちをみても、それぞれの想いが伝わってくる歌声で、とても感動しました。

合唱は、その集団の「心」を映し出すものだと思います。5・6年生の合唱には、お互いに仲間を受け入れ、大切にしようとする「温かい心」、自分の感じた気持ちを思ったように表現しようとする「素直な心」を感じました。発表を終え、感動で涙を流しながら戻ってきた児童もいました。自分自身が取り組んできたことで、自分自身の心が揺さぶられ、感動できるというのは、とても素敵なことだと思います。会場中に感動を与えてくれた明神小の子供たちを誇りに思います。



暗唱チャレンジ

10月1日(火)から31日(木)までの1ヶ月間、今年度2回目の「暗唱チャレンジ」が行われています。この「暗唱チャレンジ」は、まず自分の学年の課題に取り組み、担任から合格をもらって、校長室で暗唱名人にチャレンジします。そこで合格すると、次のレベルや次の学年の課題に進むことができるというものです。校長室で合格した瞬間に「やったー!」と笑顔で飛び跳ねている子や最後まで自分の力でやりきったという充実感でいっぱいの子など、子供たちの一生懸命な姿が、たくさん見られています。既に6年生の課題にチャレンジしようとしている1年生や、毎回競い合うように名人チャレンジに来る男子のグループがいます。子供たちが自分で「やってみたい!」と思ったときの力というのは、無限に広がるものだ改めて実感しています。

ぜひ、ご家庭でも「暗唱チャレンジ」を話題にさせていただき、お子さんの取組を励ましていただけたら幸いです。

〈各学年の課題〉

- ・1年生 「かんばん」
- ・2年生 「てんとうむし」
- ・3年生 「くじらの子守歌」
- ・4年生 「なぜ」「星とたんぼぼ」
- ・5年生 「あるくうた」「道」
- ・6年生 「あいたくて」「枕草子」

